

第94回 防災カフェを開催しました。



災害時の医療

～災害拠点病院とDMAT(災害派遣医療チーム)や

日本赤十字社救護班などの役割～


日時：2024年12月13日(金) 18時30分～20時

ゲスト： 大津赤十字病院 高度救命救急センター 副センター長

竹市 康裕 さん

ファシリテーター：大津赤十字病院 泌尿器科部長 石戸谷 哲 さん

災害時には多くの傷病者が発生し、避難所生活などによる健康被害も拡大します。また、医療資機材の不足や医療従事者の減少によって、診療力が減少します。災害時の保健所や災害拠点病院の役割と、さまざまな医療救護班を紹介いただくとともに、これからのに向けた問題点などについてもお話いただきました。

 日本赤十字社 大津赤十字病院

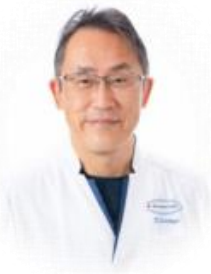
DMAT 災害派遣医療チーム

Disaster Medical Assistance Team

- 病院の医師1名、看護師2名、ロジスティック1名以上
- 迅速な出動が可能
- 患者の診療と搬送ができる。
- 必要なところに、必要な人や物資を届けられるように情報を収集し分析する本部機能



ゲスト：竹市 康裕 さん



ファシリテーター：石戸谷 哲 さん

Take Home message

- 災害になっても、災害拠点病院は頑張ります。
- 診療所も頑張ります。救急車も動いています。
- 救護班があなたのもとを訪れます。
- お薬の流通は数日から1週間ほどで可能となります。
- 保健所か市役所に連絡を。必要資材と量を報告
- お薬を1-2週間持参。
- 病歴がわかるように
- お薬手帳を持参
- 諦めずに、避難所の環境改善。

竹市さん、石戸谷さん、参加者のみなさん ありがとうございました。

第94回『防災カフェ』の概要は、後日お知らせします。